

第 1 号議案

都市計画練馬城址公園の 整備計画について

(審議)

1. 都市計画練馬城址公園の計画テーマ

【計画テーマ】

都民に親しまれてきた土地の歴史・風土、緑豊かな自然を生かし、
多様な主体と連携し社会の変化に対応しながらつくる公園

【計画コンセプト】

① 豊かな緑と川のせせらぎを感じる中で、人々が憩い、安らぐことのできる空間づくり

- ・既存の樹林地や地形を生かしながら区域内の緑を増加
- ・石神井川沿いの並木道や散策路との連続的な水辺空間を創出
- ・周辺の様々な公園を繋げ緑と水のネットワークを強化

② 人々が迅速に避難でき、地域の防災機能の向上に繋がる拠点づくり

- ・まとまった広場空間を確保し防災機能を早期発現
- ・円滑な災害応急や避難に対応する防災施設の整備
- ・地形等も考慮し、周辺からの避難を円滑に受け入れる動線を確保

③ 都民に親しまれてきた土地のにぎわいを醸し出し、人々が集い交流を生む空間づくり

- ・遊園地「練馬城址豊島園」の開設等、土地の歴史的背景を生かす
- ・農業等を生かした地域連携により、人々の活気と交流を創出
- ・民間との連携により多面的な使い方ができる空間を整備

2. ゾーニング案



3. A 花のふれあいゾーン

四季折々の花に囲まれた憩いの場で、イベントや花とのふれあいを楽しむことができる
活気とにぎわいのある空間

○花のふれあいエリア
花畑に囲まれた広場で花とのふれあいや様々なイベントを楽しむエリア

【機能発現のための要素】

緑と水

- 四季折々の花による景観
- 芝生のオープンスペース

広域防災拠点

- 歩行者の避難出入口
- 緊急車両出入口
- 災害時の避難・活動場所

にぎわい

- 花に囲まれながら安らぎ・憩う場
- 花や芝生とのふれあいの場
- 周辺地域の観光・産業等の魅力発信の場
- 老若男女が集まる様々なイベント開催の場

【主な導入施設（案）】

1	花畑	季節の花々により、人々が花に親しむことができる憩いの場
2	芝生広場	緑のオープンスペース 災害時には避難・活動場所として機能
3	イベント広場	マルシェ等のイベントを開催する広場として、人々の交流を創出
4	交流拠点	周辺地域の観光・産業等をPRする拠点として、 来園者と地域との交流を創出
5	駐車場	車での来園者の玄関口として機能 災害時の緊急車両出入口及び 災害時臨時離着陸場候補地として活用



3. B エントランス交流ゾーン

多くの人を訪れる公園の玄関口であり、人々が集い、交流を生み出す空間

- 集いと交流エリア
公園の顔として園内利用の拠点となり、人々が集い、木漏れ日の中で飲食を楽しむエリア
- 日本庭園エリア
伝統的な日本の庭園美を感じる空間の中で様々な交流を生むエリア

【機能発現のための要素】

緑と水

- 木陰の空間
- 日本庭園の景観
- 井戸水を生かした庭園内の水辺空間

広域防災拠点

- 歩行者の避難出入口
- 災害時の避難・活動場所

にぎわい

- 木陰の中で人々が憩い、交流する場
- 日本の伝統技術を体感、伝統文化を体験する場
- 気軽に立ち寄り楽しむ飲食の場
- 園内利用の情報発信の場

【主な導入施設（案）】

1	エントランス広場	電車等による来園者の玄関口として、人々が憩い、交流が生まれる広場
2	日本庭園	伝統的な日本の庭園美を味わいながら伝統技術を体感し、伝統文化の体験を通じて人々の交流を生む空間
3	飲食施設	公園利用時や日常の中で気軽に立ち寄ることができる飲食施設
4	管理所・案内所	園内の維持管理の拠点かつ利用者への情報提供を行う施設 この土地の歴史背景を伝え、災害時には情報提供の場として機能



3. C 川辺の散策ゾーン

川沿いの桜並木の下で、水の流れや川風を感じる快適な空間

○川辺の散策エリア

桜並木の下を歩行・休憩しながら、川の流れや川沿いの緑に親しむことができるエリア

【機能発現のための要素】

緑と水

- 桜並木の景観
- 石神井川の水辺空間
- 水辺に近づくことができる親水空間

広域防災拠点

- 歩行者の避難出入口
- 緊急車両出入口
- 災害時の避難・活動場所

にぎわい

- 安全・快適に散策・ランニングを楽しむ場
- 散策やランニングの途中で休憩できる場
- 川を眺めながら飲食を楽しむ場

【主な導入施設（案）】

1	散策路	散策やランニングを楽しみながら四季の移ろいを感じる場 一部、川面に近づくことができる場を整備
2	桜並木	石神井川沿いに連続する桜並木を創出 桜花期には夜桜を楽しむことができる
3	休憩・飲食施設	桜並木や川面を眺めながら飲食を楽しむことができる施設 石神井川沿いの散策やランニングの拠点施設としても機能



3. D 人々を繋げ歴史を伝える文化ゾーン

起伏に富む地形や自然を生かした、 城や遊園地が積み重ねてきた文化やにぎわいの歴史を伝える憩いの空間

- 緑と水の憩いエリア
起伏に富む地形を生かした流れや湿生植物等の水辺環境に触れ親しむことができるエリア
- 練馬城跡の歴史エリア
練馬城の地下遺構を保全しながら噴水等の修景施設により「練馬城址豊島園」開設の歴史を伝えるエリア
案内所や解説板により練馬城の歴史背景を伝える

【機能発現のための要素】

緑と水

- 起伏に富む土地の景観
- 城跡の景観
- 斜面林に残る自然植生
- 井戸水を生かした湿地環境
- 草地のオープンスペース

広域防災拠点

- 歩行者の避難出入口
- 緊急車両出入口
- 災害時の避難・活動場所

にぎわい

- 土地の歴史や文化を学ぶ場
- 水辺や草地の自然とふれあう場
- 開放的な景観の中で飲食を楽しむ場
- 花に囲まれながら安らぎ・憩う場

【主な導入施設（案）】

1	流れ	子どもが水遊びを満喫することができる流れや浅瀬
2	池	睡蓮等の水生植物に親しむことができる池
3	湿地	周辺には湿地が広がり、木道を歩いて水生植物や昆虫等の自然観察を楽しむことができる
4	草地広場	緑のオープンスペース 災害時には避難・活動場所として機能
5	花畑	練馬城跡を花畑等の修景施設で彩り、
6	噴水	練馬城主の豊島氏や「練馬城址豊島園」開設の歴史を伝える場



3. E にぎわいアクティビティゾーン

緑豊かな樹林地や広場の中で、身体を使った様々な野外体験ができる、
にぎわい溢れる人々の活動空間

○森のアクティビティエリア

樹木に囲まれた遊び空間で、アスレチック等のアクティビティにより、身体を動かしながら木々の緑を身近に親しむエリア

○アウトドアレクリエーションエリア

野外での飲食や宿泊を通じて、子どもから大人まで夢中になってレクリエーション活動を楽しむエリア

【機能発現のための要素】

緑と水

- 既存樹林を中心とした緑豊かな空間
- 芝生のオープンスペース
- 様々な生き物を育む樹林地
- 井戸水を生かした水辺空間

広域防災拠点

- 歩行者の避難出入口
- 緊急車両出入口
- 災害時の避難・活動場所

にぎわい

- 子どもが楽しむことができる水遊びの場
- 老若男女が集まる様々なイベント開催の場
- 自然とのふれあいを通じた環境学習の場
- 自然の中で身体を動かす場
- 野外の開放的な空間で飲食や宿泊を楽しむ場

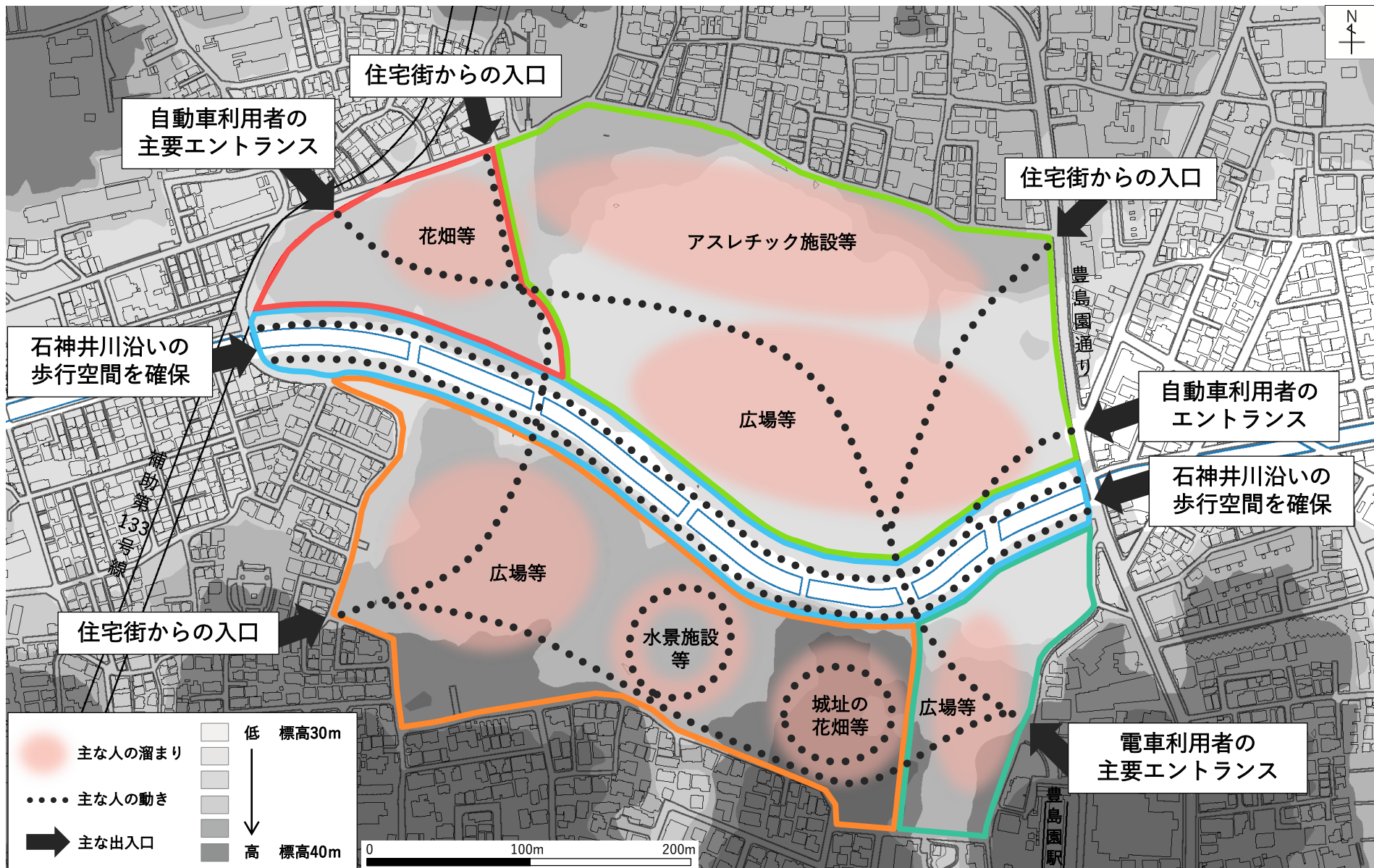
【主な導入施設（案）】

1	芝生広場	緑のオープンスペース 災害時には避難・活動場所として機能
2	水遊び場	子どもが水遊びを満喫することができる流れや浅瀬
3	雑木林	既存の樹木を生かした雑木林 昆虫や鳥等の様々な生き物を育み、自然観察の場として活用
4	アスレチック施設	自然の中で身体を動かして遊ぶことができる遊戯施設
5	キャンプ場	園内で宿泊を楽しむことができる施設 併設のバーベキュー場では屋外での飲食を楽しむことができる
6	多目的広場	ボール遊びや軽い運動等、イベント等の多目的な使用ができる広場

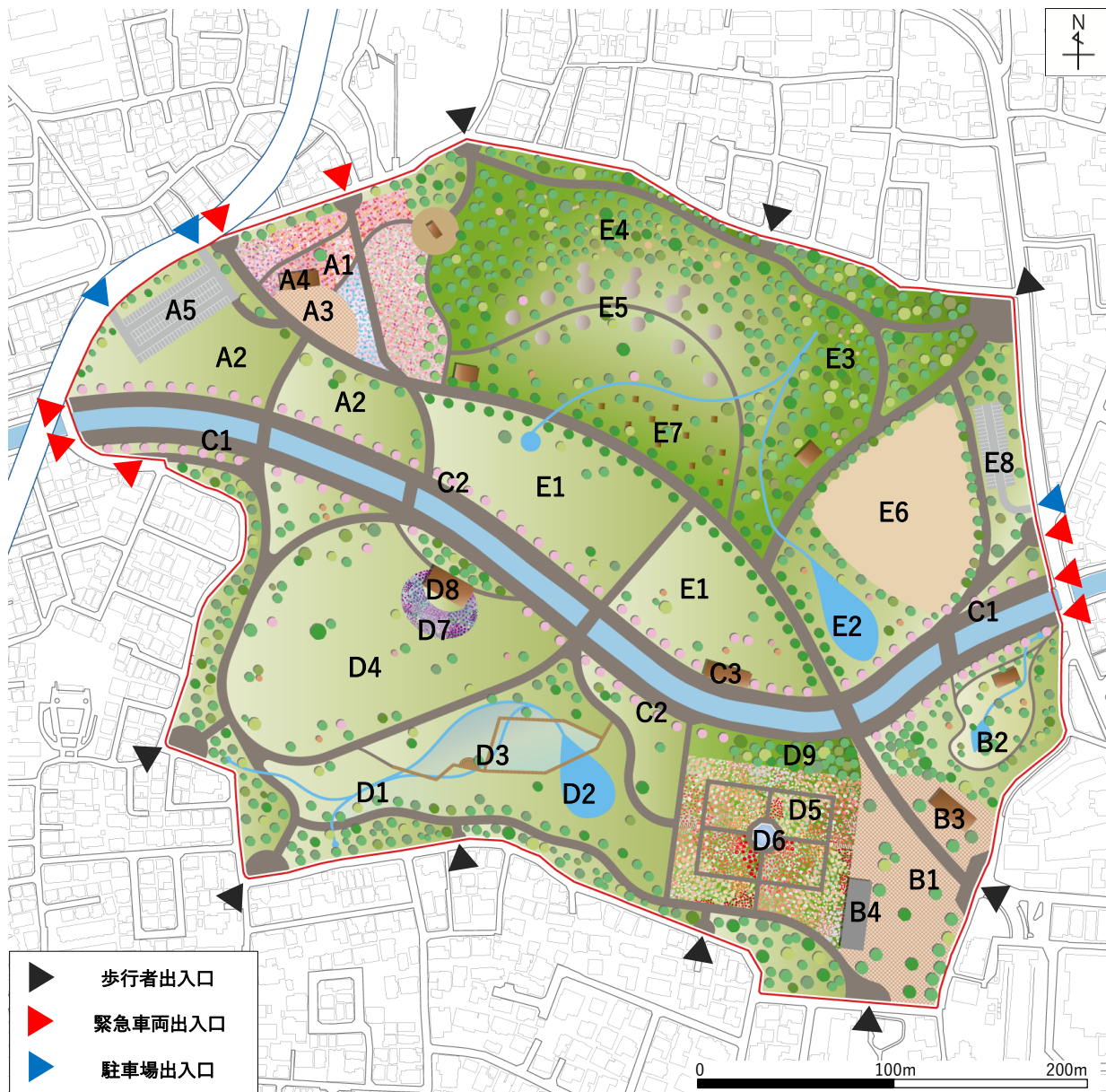


※このゾーンは覚書に基づく段階的な公園整備において、民間事業者がスタジオツアー施設を運営予定

4. 主要動線計画



5. 計画平面図 (案)



A 花のふれあいゾーン	
A1	花畑
A2	芝生広場
A3	イベント広場
A4	交流拠点
A5	駐車場

B エントランス交流ゾーン	
B1	エントランス広場
B2	日本庭園
B3	飲食施設
B4	管理所・案内所

C 川辺の散策ゾーン	
C1	散策路
C2	桜並木
C3	休憩・飲食施設

D 人々を繋げ歴史を伝える文化ゾーン	
D1	流れ
D2	池
D3	湿地
D4	草地広場
D5	花畑
D6	噴水
D7	花壇
D8	飲食施設
D9	斜面林

E にぎわいアクティビティゾーン	
E1	芝生広場
E2	水遊び場
E3	雑木林
E4	アスレチック施設
E5	キャンプ場
E6	多目的広場
E7	バーベキュー場
E8	駐車場

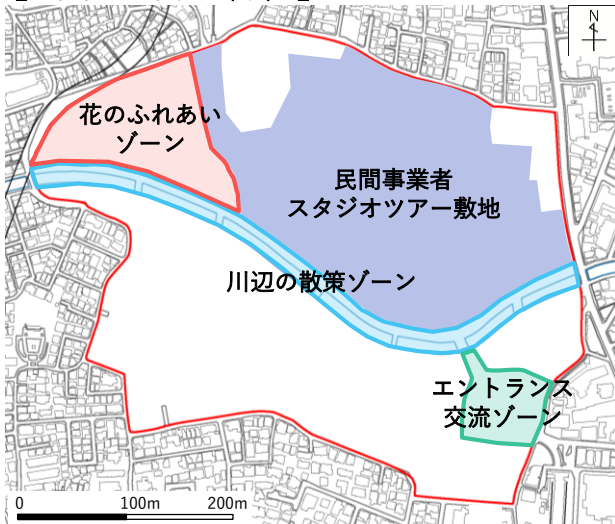
※一つのイメージ案として、参考的に表現したものです

6. 段階的な公園整備の概略

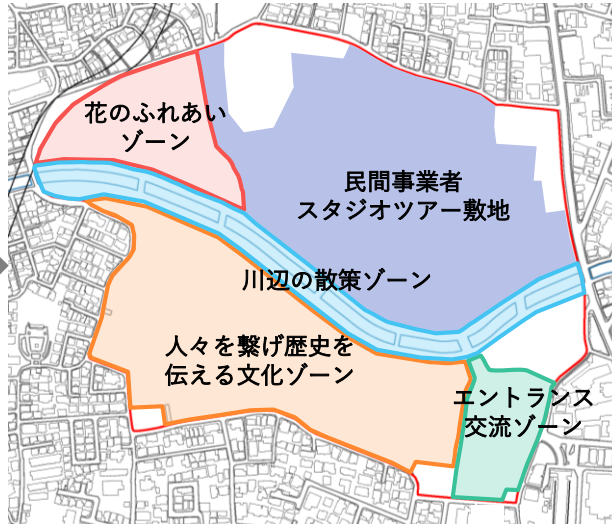
【 段階的な公園整備スケジュールの概略 】

ゾーン	時期	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	最終段階
花のふれあいゾーン					○ 先行開園							→
エントランス交流ゾーン					○ 先行開園							→
川辺の散策ゾーン					○ 先行開園							→
人々を繋げ歴史を伝える文化ゾーン											○ 開園	→
にぎわいアクティビティゾーン												開園
民間事業者敷地		民間事業者がスタジオツアー施設を運営予定										▶

【 令和5年度（案） 】



【 ~令和11年度（案） 】

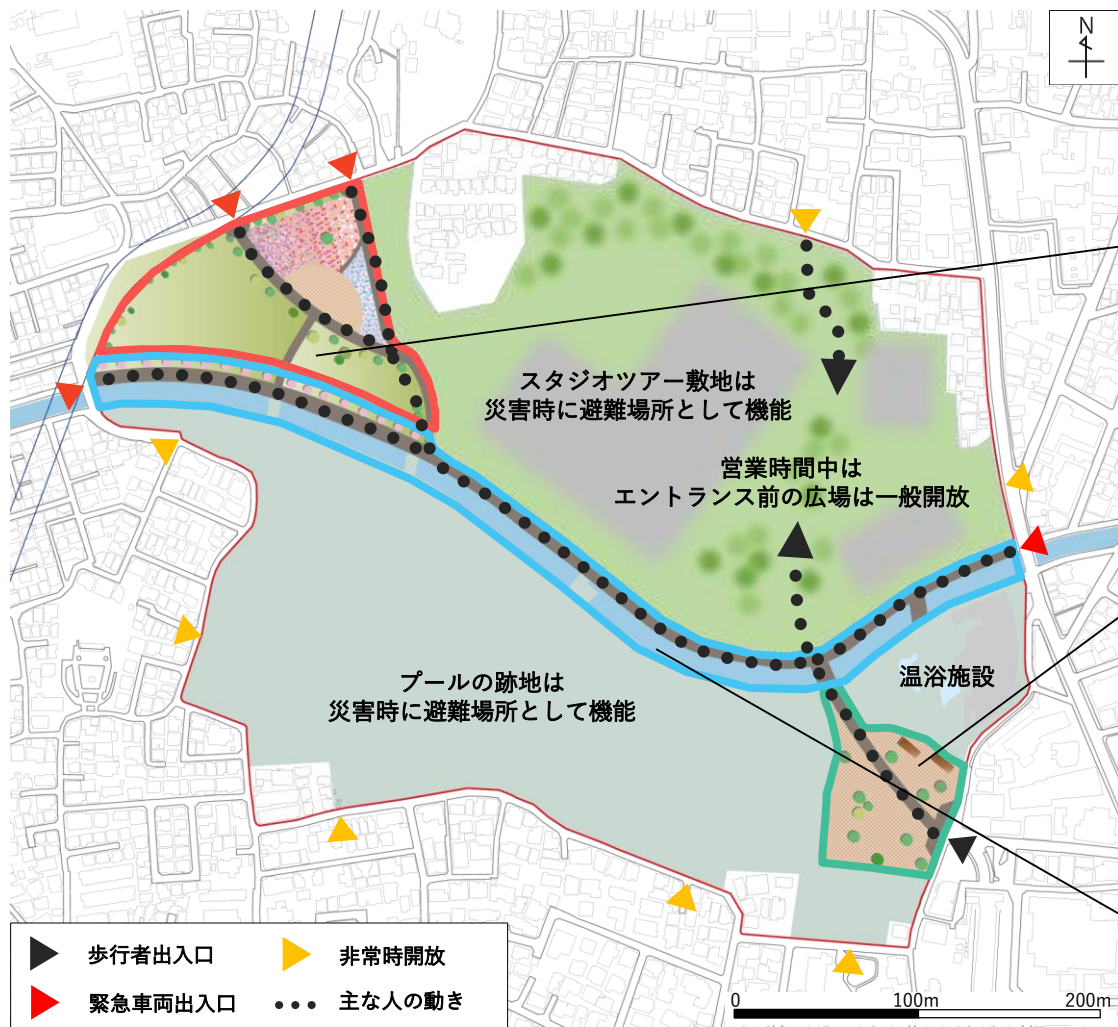


【 最終段階 】



6. - (1) 令和5年度 (案)

- 3つのゾーンが開園し、公園としての機能を発現
- 東西南北から避難出来る出入口及び避難場所を確保 ※工事中も避難場所として機能
- 人々が集い、交流を生む広場空間を確保



【主な導入要素】

花のふれあいゾーン

- 四季折々の花による景観
- 芝生のオープンスペース
- 歩行者の避難出入口
- 緊急車両出入口
- 災害時の避難・活動場所
- 花に囲まれながら安らぎ・憩う場
- 花や芝生とのふれあいの場
- 老若男女が集まる様々なイベント開催の場

エントランス交流ゾーン

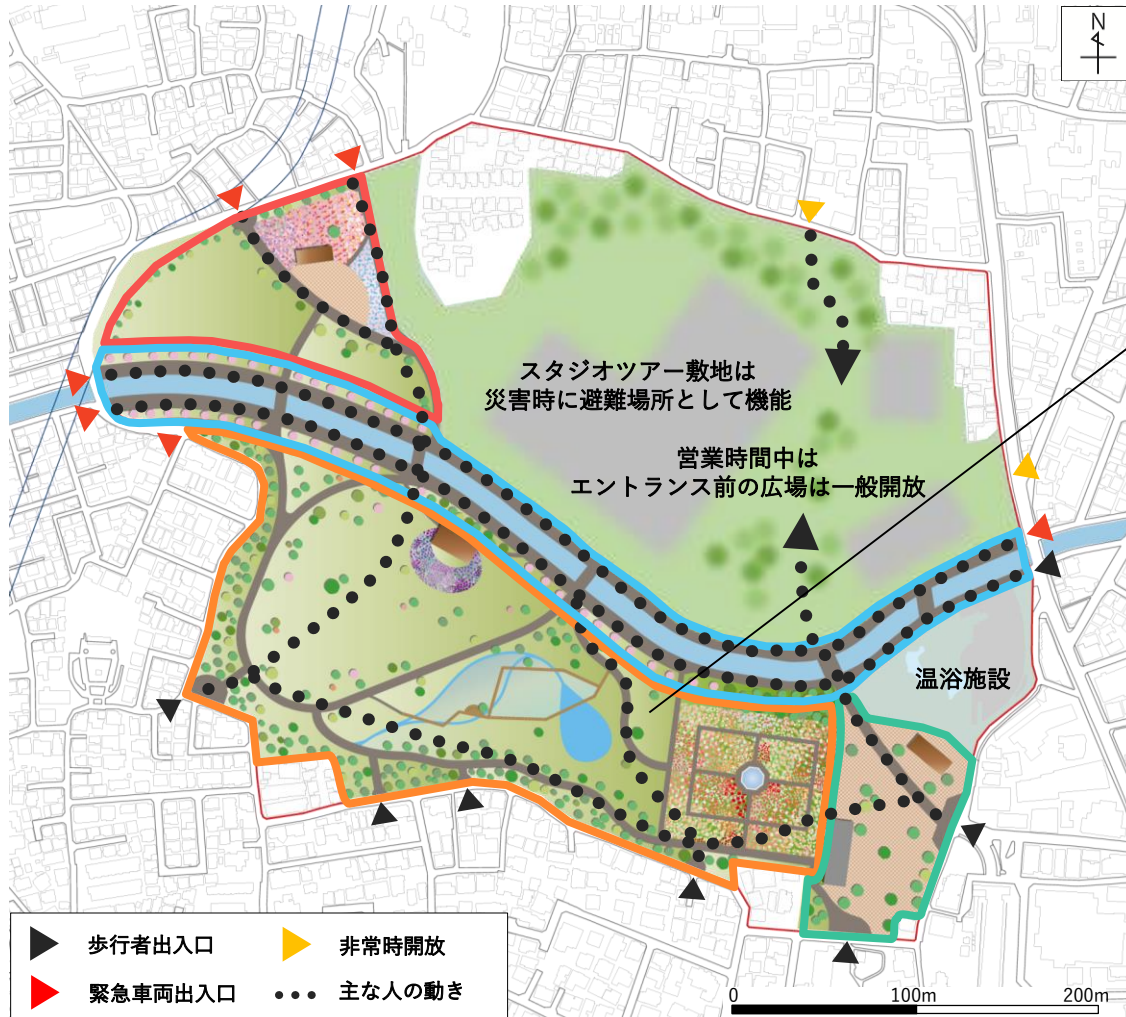
- 木陰の空間
- 歩行者の避難出入口
- 災害時の避難・活動場所
- 木陰の中で人々が憩い、交流する場

川辺の散策ゾーン

- 桜並木の景観
- 石神井川の水辺空間
- 歩行者の避難出入口
- 緊急車両出入口
- 災害時の避難・活動場所
- 安全・快適に散策・ランニングを楽しむ場

6. - (2) ~令和11年度 (案)

- 人々を繋げ歴史を伝える文化ゾーンが開園し、ゾーンとしての機能を発現
- 避難・活動場所ともなる緑のオープンスペースを拡大
- 水辺の植物に親しみ、水遊びのできる空間を整備



【主な導入要素】

人々を繋げ歴史を伝える文化ゾーン

- 起伏に富む土地の景観
- 城跡の景観
- 斜面林に残る自然植生
- 井戸水を生かした湿地環境
- 草地のオープンスペース

- 歩行者の避難出入口
- 災害時の避難・活動場所
- 緊急車両出入口

- 土地の歴史や文化を学ぶ場
- 水辺や草地の自然とふれあう場
- 開放的な景観の中で飲食を楽しむ場
- 花に囲まれながら安らぎ・憩う場

【追加要素】

花のふれあいゾーン

- 周辺地域の観光・産業等の魅力発信の場

エントランス交流ゾーン

- 気軽に立ち寄り楽しむ飲食の場
- 園内利用の情報発信の場

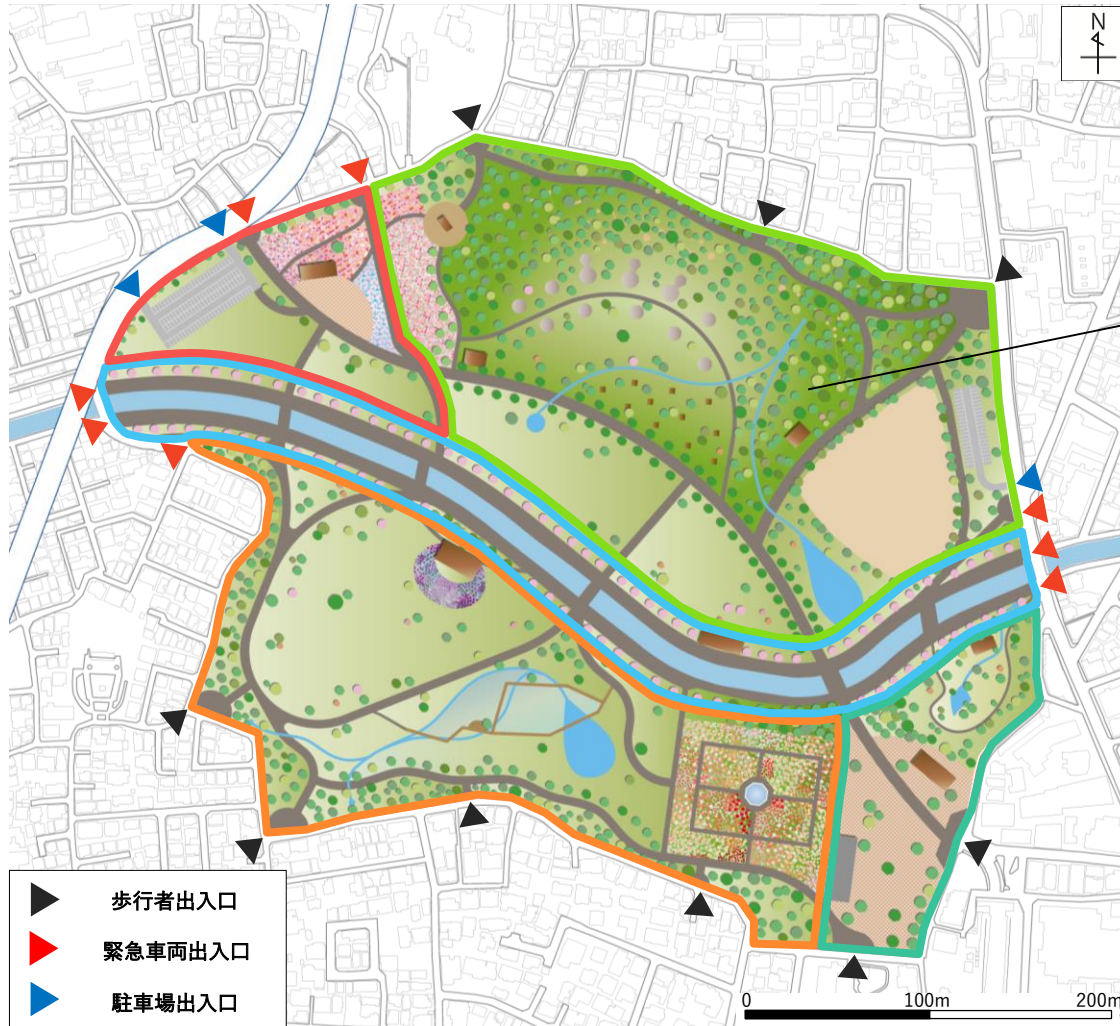
川辺の散策ゾーン

- 散策やランニングの途中で休憩できる場

- ▶ 歩行者出入口
- ▶ 緊急車両出入口
- ▶ 非常時開放
- 主な人の動き

6. - (3) 最終段階

- 5つ全てのゾーンが開園
- 各方向から避難出来る動線を確保
- 自然の中で身体を動かすことができるアクティブ空間を整備



【主な導入要素】

にぎわいアクティビティゾーン

- 既存樹林を中心とした緑豊かな空間
- 芝生のオープンスペース
- 様々な生き物を育む樹林地
- 井戸水を生かした水辺空間
- 歩行者の避難出入口
- 災害時の避難・活動場所
- 緊急車両出入口
- 子どもが楽しむことができる水遊びの場
- 老若男女が集まる様々なイベント開催の場
- 自然とのふれあいを通じた環境学習の場
- 自然の中で身体を動かす場
- 野外の開放的な空間で飲食や宿泊を楽しむ場

【追加要素】

花のふれあいゾーン

- 車での来園者の玄関口

エントランス交流ゾーン

- 日本庭園の景観
- 井戸水を生かした庭園内の水辺空間
- 日本の伝統技術を体感、伝統文化を体験する場

川辺の散策ゾーン

- 水辺に近付くことができる親水空間
- 川を眺めながら飲食を楽しむ場

都市計画練馬城址公園 整備計画審議スケジュール

令和2年6月30日	諮問
令和2年9月8日	現地視察、審議
令和2年11月30日	審議
令和3年1月頃	中間のまとめ 都民意見の募集(パブリックコメント)
令和3年5月頃	答申